

## 麻疹（はしか）に注意しましょう

現在、報道されている通り、日本国内で多数の麻疹患者の報告があり、今後の流行が懸念されています。

麻疹はきわめて感染力が強く、マスクなどでは十分な予防が困難です。また、重症化すると肺炎や脳炎などをきたし、重篤な後遺症を残すこともあります。

麻疹についてよく理解し、感染を防止し、広げないように十分な注意をしましょう。

### <麻疹について>

麻疹は麻疹ウイルスによる感染症で、空気・飛沫・接触感染で発症します。感染力はきわめて強く、ワクチン接種以外での予防は困難です。

感染すると、10～12日程度で発症し、38度程度の発熱とかぜ症状が2～4日続き、その後39度以上の高熱とともに発疹が出現します。主な症状は発熱や発疹のほか、咳、鼻汁、眼の充血などです。

合併症がなければ主な症状は7～10日で軽快しますが、重症になると、肺炎や脳炎などを起こし、致命的となることもあります。

治療薬はなく、発症すると症状をおさえるための対症療法が中心です。

### <予防について>

個人でできる最も有効な予防法はワクチンの接種です。ワクチンの接種歴のない方は速やかに医療機関へ相談しましょう。

また、咳やくしゃみで感染しますので、他の感染症同様、手洗いやマスクの着用をしましょう。

### <注意点>

麻疹は学校保健安全法で第二種の感染症に指定されており、解熱した後3日を経過するまで出校停止となっています。

診断を受けたら医師の指示に従い、外出はせず、人との接触を避けましょう。

また、麻疹は強い感染性がありますので、感染を疑った場合も、むやみな受診は避け、まずは医療機関に電話で問い合わせるようにしましょう。

### <参考>

[麻疹に関する緊急情報（国立感染症研究所）](#)

[厚生労働省 麻しん・風しん](#)

[東京都感染症情報センター 麻疹](#)

[感染症への対応（中央大学保健センター）](#)